

2020年4月6日

(本リリースは、2020年3月18日に発表されたものの日本語抄訳版です。)

進化する BAT の企業戦略: より良い明日を築く

- 満足度の高い低リスク製品の拡充を通じて健康への影響を低減することにより、より良い明日を築く
- 新カテゴリ製品への投資および当社の業績予想レンジを達成するため 10 億ポンドの効率化を実施
- 2030 年までに燃焼たばこ製品以外の消費者数を 5,000 万人まで伸ばすこと、およびカーボンニュートラルを達成することなどを含む、新たな ESG 目標の拡充



ブリティッシュ・アメリカン・タバコ(以下、BAT)の最高経営責任者ジャック・ボールズおよび執行役員会は3月18日、BATの新たな企業アイデンティティ、ロゴの導入とともに、進化する企業戦略を発表しました。

今般、以下の3つの優先事項について、最新情報が発表されました。

- 燃焼たばこ製品の価値の向上
- 新カテゴリ製品の大胆な変革の実現
- 事業のシンプル化

2019年、BATはこれらの優先事項において順調な進展を遂げました。発表した予想レンジに沿った形で、強固な業績および潤沢なキャッシュフローを通じて、バランスシートのレバレッジの引き下げを実現

しました。さらなる売上成長および長期的な成功のために必要な生産能力の増強を目的に、新カテゴリー事業に対して大幅な追加投資を行ったにも関わらず、レバレッジの低下は実現されました。

また、2019年を通じて、BATは300人を上回る専門管理職を採用し、現在では管理職の37%を女性が占めています。その結果、デジタル、製品開発、科学、デザインなど多角的な方面における能力や専門性は大幅に増強されました。これらの堅固な基盤によって、今後も成果を上げていくことができると確信しています。

より強く、よりシンプルで、より俊敏な組織への変革を遂げる中、BATは以下を目指します。

- BAT独自のマルチカテゴリー・コンシューマー・インサイト・プラットフォーム(PRISM)を活用することにより、様々なムードやシーンに合った知覚的な楽しさを提供する、的を絞った商品構成を通じて、絶え間なく変化する消費者の嗜好を満たし、好機を捉える
- 新カテゴリー製品への投資を増強させ、予想レンジに沿った業績を達成するための事業シンプル化プログラム(プロジェクト・クオンタム)を拡張させ、今後3年間で総額10億ポンドの効率化を実施する
- オープンイノベーションのコーポレート・ベンチャー・チームを立ち上げ、BATの製品開発技術を活かした、ニコチンの枠をこえる製品を含む、新製品の評価、テスト、そして最終的には開発を目指す

これらは、消費者に対する満足度の高い低リスク製品の拡充を通じて健康への影響を低減することにより、「より良い明日を築く」、というBATの新たな企業目的を支えるものです。

ブリティッシュ・アメリカン・タバコの最高経営責任者 ジャック・ボールズは以下のように述べています。

「私が2019年初旬に掲げた優先事項の全てをBATが受け入れ、それらを実行に移していることを非常に嬉しく思います。我々は今、消費者に対する満足度の高い低リスク製品の拡充を通じて健康への影響を低減することにより、「より良い明日を築く」という、明確な目標の実現に取り組んでいます。

今日、ESG観点の新たな目標を発表することにより、新たなサステナビリティ計画に対する当社のコミットメントをここで表明いたします。当社は、2030年までに、燃焼たばこ製品以外の消費者数を5,000万人まで伸ばすこと、およびカーボンニュートラルを達成することに加えて、2030年までに目指していた既存の環境関連目標の達成期限を2025年へ前倒しする、などの目標を掲げています。これらの計画の重要性、およびその進捗状況の報告経路は、当社の新たな組織構造にも反映されており、ESGおよび広報部門は、チーフ・マーケティング・オフィサーのキングスレイ・ウィートンの直属になります。

目標を達成するには、大胆かつ俊敏で、決定力や責任力を備えた、多角的な組織である必要があります。燃焼たばこ事業の価値を高めると共に、事業シンプル化プログラム(プロジェクト・クオンタム)を拡

張させ、今後3年間で総額10億ポンドの効率化を実現することにより、新カテゴリ製品の売上成長率を一段と加速させていきます。

今後に関しては、3つの明確な優先事項の枠組みを通じて、戦略を実施し、予想レンジの実現を目指します。私たちは旅の道半ばにあり、今がBATにとって非常に重要な時期にあります。今後も様々な計画を皆さまに共有させていただきます」

2020年の見通し 2020 Outlook

新型コロナウイルス感染は急速に拡大しています。当社の事業は堅固であり、サプライチェーンも製造と流通の双方において、地域的に分散化されていることから、現時点では、それほど著しい影響は受けていません。

前述の通り、2020年上半期の新カテゴリ製品の売上成長は厳しい展開となる見通しです。中国のサプライチェーンは回復しつつあるものの、特定の新製品の発売を延期することを決定しました。しかしながら、2020年には、2023/24年の新カテゴリ製品の売上目標である50億ポンドの実現に向けて、一段と進展する見通しです。

紙巻たばこの消費者需要(ごく小規模のデューティフリー販売網を除く)に対する影響は今のところ限定的ですが、引き続き状況を監視します。現時点では、2020年に世界の紙巻たばこ市場および加熱式たばこの販売数量は約4%減少すると引き続き予想しております。また、米国の紙巻たばこ市場に関しては、年初来ベースでは前年同期比で約1%増(2月時点:年初来ベース約4%減)となっているものの、業界環境は急速に変化していることから、2020年通期に関しては引き続き約5%減少すると見ています。

全体としては、世界的に不透明な状況ではあるものの、事業は好調で、現段階では同一為替レートでの調整後売上成長率は当社の予想レンジに沿った3~5%を達成できる見通しです。

メディアお問い合わせ先

Press Office

+44 (0) 20 7845 2888 (24 hours) | [@BATPress](#)

Investor Relations

Mike Nightingale: +44 (0)20 7845 1180

Rachael Brierley: +44 (0)20 7845 1519

Victoria Buxton: +44 (0)20 7845 2012

William Houston: +44 (0)20 7845 1138